

市民のためのサイエンス講座2016

火山噴火の謎に迫る

～巨大地震と東北の噴火予知～

2016年9月3日(土) 13:30～16:30 [開場 13:00]

会場 東北大学文科系総合講義棟 2F

入場無料
定員300名

下記要領で
お申し込みください。
お申し込み多数の場合
先着順となります。

国内の火山活動を紹介する
東北大学の企画展『日本の火山噴火と火山災害』を特別展示!

講演

13:50～14:30

巨大地震は噴火を誘発させるのか?

東北大学大学院理学研究科教授

西村 太志氏

●にしむら たけし



東日本大震災の後、御嶽山や口永良部島、蔵王山、箱根山と、国内の火山活動に注目が集まっています。巨大地震が火山活動にどのような影響を及ぼすのかについて、噴火のメカニズムとともにお話します。また、噴火の多様な表情についても紹介します。

【講師略歴】

東北大学理学部卒。同大学院修了後、同大学助手、准教授、米ロスアラモス国立研究所客員研究員などを経て、2012年より現職。

14:30～15:10

東北地方の火山は今

東北大学大学院理学研究科
地震・噴火予知研究観測センター教授

三浦 哲氏

●みうら さとし



過去に水蒸気噴火を繰り返してきた蔵王山や吾妻山では、最近になって火山活動の活発化が見られます。水蒸気噴火の発生過程や噴火直前に起きる現象などの研究は、防災・減災にもつながります。東北の活火山での噴火予知に関する研究の最前線を紹介します。

【講師略歴】

東北大学理学部卒。同大学院修了。東北大学理学部助手、助教授、東京大学地震研究所教授などを経て2013年より現職。火山噴火予知連絡会委員。

15:30～16:10

噴火がもたらす気候への影響

東北大学大学院理学研究科教授・
理学研究科長

早坂 忠裕氏

●はやさか ただひろ



火山噴火の影響は地域に限定されるものではなく、噴出した火山灰やガスが成層圏まで達して、「火山の冬」と呼ばれる気温低下など、全地球規模の気候変動を引き起こすことがあります。気象観測データや過去の文献からそのメカニズムを解説します。

【講師略歴】

東北大学理学部卒、同大学院修了。東北大学理学部助手、助教、総合地球環境学研究所教授などを経て2008年から現職。2014年度より理学研究科長、理学部長。

お申し込み方法

「住所・氏名・職業・年齢・電話番号・希望人数」を明記し、ハガキ、FAXまたはEメールでお申し込み下さい。入場整理券を郵送します。

ハガキ宛先 / 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-3-6 読売仙台ビル3階 読売新聞東北総局
「市民のためのサイエンス講座」係

FAX送付先 / 022-222-8386

Eメール送信先 / tohoku@yomiuri.com

■お申し込み締切 / いずれも8月28日(日)必着

■お問い合わせ / 読売新聞東北総局 TEL 022-222-4121

東北大学総務企画部広報課 TEL 022-217-5132

会場へのアクセス

東北大学文科系総合講義棟 2F

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内27-1 (川内南キャンパス内)

【地下鉄】東西線川内駅下車 南2出口から徒歩7分

※ 会場に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

